

## 2017年国民春闘スローガン

# STOP暴走政治！ 守ろういのちと平和、そして憲法 賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興で地域の活性化

政府、次期国会に、新「共謀罪」=「テロ等組織犯罪準備罪」法案提出方針

### 名前を変えても「共謀罪」

◆報道によると、政府は1/20召集予定の通常国会に、「共謀罪」の名称を変更した「テロ等組織犯罪準備罪」法案を提出する方針です。

◆「共謀罪」法案は、小泉政権当時に3度提出されましたが、世論と運動によって、いずれも廃案となりました。

◆テロ対策を口実に、名前を変更しても、中味は「共謀罪」と変わりません。自由法曹団の加藤事務局長は「沖縄・高江での事態の推移をみても明らかなように、国民の正当な運動に対する弾圧のやいばとされることは必定」と、指摘しています。

2016年9月21日、全国労働組合総連合、自由法曹団、日本国民救援会の3団体が、安倍首相宛に提出した「『共謀罪』の新設に断固反対します」より、前文と反対理由を抜粋し掲載します。

政府は、東京オリンピックなどに対する「テロ対策」を口実に、「共謀罪」を新設するための組織犯罪処罰法を「改正」し、「共謀罪」を新設する方針であることが報道されています。

「共謀罪」は、人権侵害の刑罰であり、これまでに3度にわたり国会に提出され、そのたびに国民の大きな反対によって廃案となった悪法です。

私たちは、「共謀罪」新設の狙いが、「戦争をする国」づくりに反対する国民のたたかいを抑えるための、秘密保護法、盗聴法改悪などにつながる一連のものであると考え、新設に断固反対するものです。(以下、抜粋)

第1に、「共謀罪」は、憲法で保障された思想・信条、内心の自由を侵します。

第2に、「共謀罪」は、「テロ対策」どころか、広く市民、団体を監視することになります。

第3に、「共謀罪」は、警察の日常的監視、「密告」社会を招きます。

## 毎月19日行動

「安保法制廃止！改憲NO！19・アクション」  
 2016年12月19日に20人超で実施



長野市：トイゴ前

## 春闘など今後の主な日程

2017年

- 1/10 (火) 新春宣伝行動
- 1/12 (木) 臨時幹事会
- 1/14 (土) 長野労連旗開き
- 1/16 (月) 長野労連評議員会
- 2/19 (日) 地域総行動(集会・チラシ配布)
- 2月 自治体訪問、最賃請願・陳情
- 2/24 (金) 長野労連青年部大会
- 3/16 (木) 全国統一行動

2017年長野地区春闘方針(案)を、各組織機関会議用に1/10着で送付しました。以下は、その冒頭部分です。みんなで、2017年春闘を元気に闘い、切実な要求実現の運動を進めましょう。

第192臨時国会(2016年9月26日～12月17日)で、安倍政権の暴走・強権政治の実態がいつそう鮮明になりました。国会終盤には、TPP、年金、カジノの重大法案を、横暴極まる前代未聞の国会運営で強行しました。この怒りを、政治を変える運動につなげていきましょう。

日本の女性がおかれている実態をみると、政治の誤りは明確です。①ジェンダーギャップ(社会進出における男女格差)指数：日本111位/144カ国。主要7ヶ国中最下位、②男女賃金格差前年比3万円拡大(2015年)、③女性の非正規労働者13万人増で1345万人(2015年)、④妊娠・出産で5割が離職、⑤低い女性の役職比率(12.5%：2013年)、⑥女性労働者の割合が高い看護師、保育士などの低賃金。「女性活躍」とは正反対の実態です。

さらに、過労死の労災申請件数は高止まりで推移し、過労自殺の申請件数はほぼ毎年、数字を更新し続けている恐るべき実態です。

これらの実態(決して極端な事例ではありません)が報道で知らされず、「女性活躍」「男女平等参画」「同一労働同一賃金」など等、耳ざわりのいい安倍政権のスローガンにかき消されています。この事実を組合員や組織の構成員に知らせ、「学び・つながり・闘う」ことが、私たち労働組合の運動に求められています。

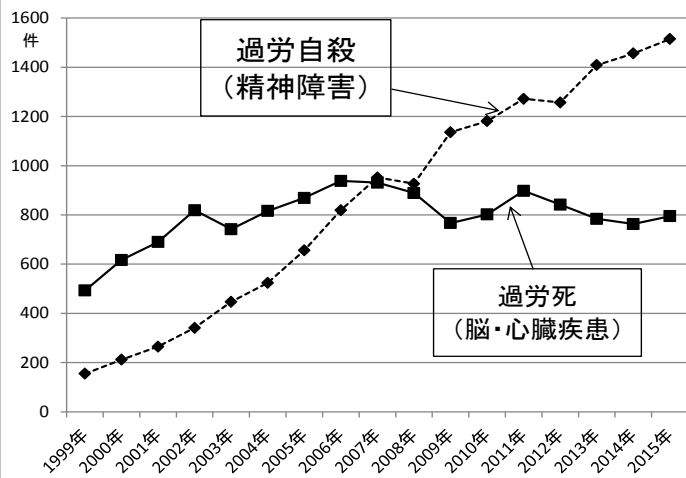
2017年春闘を、労働組合運動の原点にたつて、みんなの力を合わせて闘っていきましょう。

## 男女平等日本は111位(144カ国中) G7で最下位

	2006		2016	
	順位	指数	順位	指数
総合	80位	0.645	111位	0.660
経済的平等	83位	0.545	118位	0.569
教育機会	60位	0.986	76位	0.990
健康医療の機会	1位	0.980	40位	0.979
政治参加	83位	0.067	103位	0.103

世界経済フォーラム 2016年版「ジェンダー・ギャップ指数」

## 過労死・過労自殺の労災申請件数の推移



## 加盟組合紹介

## JMITU 前田製作所支部

### ★働きやすい職場環境をめざして

前田製作所は長野市南部の篠ノ井にある、冬季に活躍する融雪剤自動散布機「まさえもん」や、狭い場所を得意とする「かにクレーン」など、主に建設機械を扱っている会社です。さて私たちJMITU前田製作所支部の執行役員は全員20～30代前半と若いメンバーで運営しており、組合員の半数以上も35歳以下と若さ溢れる支部です。今年度は四大闘争に特に力を入れ、活動に取り組んでおります。

一六春闘においては若年層を中心に聞き取り調査を行い、若年層の生活実態を会社側に強く訴えました。その結果、社員平均6000円の賃上げを実現することができ、夏季一時金においても、満額回答とはいきませんでした。近年では最高の金額を勝ち取る事が出来ました。今後働きやすい職場環境になるよう、「若さを武器」に組合活動も取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願致します。

副執行委員長

湯沢 信介